

2023年度JANPU-CBT実証事業 質疑応答集

NO.	質問内容	回答
1	<p>対象者は「各領域臨地実習前の学生」となっておりますが、領域実習を9月から実施するため、3年生は9月26日（火）のCBT実証日に参加できません。</p> <p>3月19日（火）の場合、3年生は領域実習後となり、2年生は科目の知識が反映されていない状況になります。この場合、参加対象に当てはまるのか確認させてください。</p>	<p>今年度のJANPU-CBTでは、各教育機関にCBT実施における運用体制・運用の方法・運用実施の時期・管理について検討・評価いただくことを目的としております。</p> <p>また、学生におかれましても、CBT受験に必要なコンピュータ操作・媒体へのなれ等、経験と技術を身に付けていただくために参加していただきたいと考えておりますので、各領域臨地実習前に該当しない場合や科目の知識が反映されていない状況でも参加していただいて問題ございません。</p>
2	<p>参加した学生にとってはどんなメリットがあるでしょうか。</p> <p>例えば、自分の得点がわかり、全国平均と比較できるといったようなことがあれば学生にも協力を求めやすくなります。</p>	<p>2023年度JANPU-CBT実証事業では、各時限の試験問題のうち何問正解したかを学生個人が確認することができます。回答の確認方法については、2022年度の実施要項の4頁、または学生用簡易マニュアルの21頁をご参照ください。</p> <p>学生にはJANPU-CBTを受験することで、正答率が低かった教科の再学習や課題があることを認識できる旨、説明いただけますと幸いに存じます。また、昨年度の実証事業では、参加した学生から概ね実習前の知識を測る適切な時期だった、実習に対する気持ちが肯定的に変化したなどの回答がありました。</p> <p>今後、看護学教育でも活用がみこまれるCBTに対する、ICT端末操作やテスト環境、長時間の試験へ慣れるためにも参加していただきたいと考えております。</p>